

越の国室内合唱団 VOX ORATTA

15th Anniversary Concert

指揮：仁階堂 孝
ピアノ：石川 潤
西脇 直美

2026
11.22 (日)
開演 14:30 (開場 14:00)

高田一葉の詩による合唱曲集

真っ白な紙に

作曲：後藤 丹 作詩：高田 一葉

- ・ 未来
- ・ 星の王子さま ほか

(2026年委嘱作品 組曲全曲初演)

VOX ORATTA Jr.

(ながおかCome100クラブ)

- ・ 2026年度Nコン中学校の部
課題曲「花へ。」 ほか

チケット

一般 1,500 円 大学生以下 1,000 円

※未就学児入場不可

プレイガイド

- 長岡リリックホール (0258-29-7715)
- 市民協働センター (アオーレ長岡 西棟3階)
- チケットぴあ
- わたじん楽器 長岡店

会場 長岡リリックホール コンサートホール

新潟県長岡市千秋3丁目1356番地6

問合せ先

メール：voxoratta2011@hotmail.co.jp

HP：http://cf036040.cloudfree.jp/

右のQRコードより公式Xをご覧ください。



【交通のご案内】

- JR長岡駅大手口より、8番線から中央循環バス（内回り/近代美術館、外回り/ハイブ長岡）バス停下車、徒歩3分
- 長岡インターチェンジ（関越・北越自動車道）から車で約10分

（公財）長岡市芸術文化振興財団助成事業

【後援】長岡市 長岡市教育委員会 長岡市音楽文化協会

新潟日報社 新潟県合唱連盟 JCD 日本合唱指揮者協会

Profile



作曲
後藤 丹

新潟市生まれ。東京藝術大学作曲科卒業、同大学院修士課程修了。作品に、合唱組曲《気球の上る日》(音楽之友社)、同《みまかれる美しきひとに》(全音楽譜)、同《木にたずねよ》(全音)、弦楽四重奏曲《朱鷺は輝く大地に》、《遊びをせむとや生まれけむ》(全音ピアノピースNo.549)、ピアノ曲集《風透る街に》など。ここ2年半に亘って子どものためのピアノ曲をカワイの隔月誌Ensembleに連載中。編曲としては全音からピアノ版《パッヘルベルのカノン》、《威風堂々》、《くるみ割り人形》(独奏版、連弾版)、《マ・メール・ロワ》(独奏版)など二百曲以上が出版されている。日本音楽表現学会副会長、会長を歴任。上越教育大学名誉教授。



作詩
高田 一葉

1955年 新潟県西蒲原郡巻町(現新潟市)生まれ。1983年 第一詩集「風の地平線」後「ほらそこに」「私がここにいる理由」他、これまでに八冊を出版。
2000.2017.2025年 国民文化祭現代詩部門、文部科学大臣賞受賞。2016年 混声合唱組曲「地球を一晩借り切りて」が狩野草平作曲 仁階堂孝指揮により初演。
2018年 混声合唱曲「未来」「小太鼓打ち」が後藤丹作曲、仁階堂孝指揮により初演(この度組曲「真っ白な紙に」として初演)
1983年より個人詩誌「葉群」刊行中。



越の国室内合唱団 VOX ORATTA

「ORATTA」とは「私たち」という意味の方言をラテン語に転用したもの。
広い地域から合唱人が集まり、自分たちにしか歌えない歌声を同時代の人々に届けようという願いを込めて東日本大震災直後の2011年4月に活動を開始。全国で活躍中の仁階堂孝氏を常任指揮者に迎え、コンクールや地域の合唱祭への参加の他、小中学校訪問演奏等を通じ、充実した音響の実現に向け活動している。2015年、全日本合唱コンクール全国大会へ初出場、2021年、2023年、2025年の関東ヴォーカルアンサンブルコンテストでは金賞を受賞。2021年11月に長岡リリックホールで開催した「創団10周年記念コンサート」以来、5年ぶりの主催演奏会となる。



VOX ORATTA Jr. (ながおかCome100クラブ)

長岡市における中学校部活動の地域展開(ながおかCome100クラブ)に伴い、合唱の地域クラブとして2025年9月から活動をスタート。練習は月2回、VOX ORATTAのサポートを受けながら、発声など合唱の基礎を楽しく学んでいる。これまでリリックホールコーラスフェスティバルや朝日酒造エントランスホール(長岡市)で開催されたSanDoコンサートなどに出演。地域に支えられながら、歌う喜びを分かち合い、仲間とともに合唱を楽しんでいる。



常任指揮者 仁階堂 孝

合唱指揮者。尚美学園大学・愛知教育大学教職大学院、各講師。現在、VOX ORATTAを始め10余団体の合唱団の常任指揮者の他、各地でのコンクール審査員、合唱祭の講師、客演指揮者としても活躍中である。作曲家と協力しての新作にも意欲的に取り組み、2017年には、VOX ORATTAと共に、長岡空襲と長岡大花火をテーマとしたシアターピース「あの日の空の詩」(作曲:信長貴富 カワイ出版より刊行、ジョバンニよりDVDも発売中)を上演した。2027年2月には、杉並公会堂において、自身が指導指揮する7つの合唱団が集まり、宮本正太郎氏に委嘱した、混声合唱とピアノのための組曲「惑星のままひかりを放つ」(詩:三角みづ紀)を世界初演する。日本合唱指揮者協会理事。



ピアノ
石川 潤

新潟県立十日町高等学校普通科、新潟大学教育学部芸術環境創造課程音楽表現コースピアノ科卒業。同学部、研究生を経る。これまでピアノを西方麻起子、藤井晶子、田中幸治、弦楽伴奏法を宇野哲之、牧田由起、声楽伴奏法を松浦良治各氏に師事。また、同学部で和太鼓奏法についても研究する。第30回新潟大学音楽科定期演奏会、ラ・フォル・ジュルネ新潟クラシックストリート、上越清里星のふるさと館星空コンサートに出演。上越教育大学混声合唱団第30回定期演奏会にて大田桜子氏作曲『歌はどこから』、越の国室内合唱団VOX ORATTA第2回演奏会にて信長貴富氏作曲『あの日の空の詩』初演伴奏。



ピアノ
西脇 直美

国立音楽大学卒業。ピアノを住吉俱子、足立範子の各氏に師事。
新潟県公立中学校教諭。湯沢町立湯沢中学校在職中には、湯沢学園開園にあたり同校の学園歌を作曲。VOX ORATTA Jr. (ながおかCome100クラブ) 指導スタッフ。また、越の国室内合唱団 VOX ORATTAの伴奏ピアニストとしても活動をサポートしている。長岡市在住。